

BMC プログラム・海外派遣報告

化学専攻 物性有機化学研究室
博士課程後期 2年 焼山 佑美

参加学会: **International Conference of Molecular Magnetism (ICMM2008)**

会場: **Convitto della Calza (Florence, Italy)**

派遣期間: 平成 20 年 9 月 20 日(土)~平成 20 年 9 月 26 日(金) [6 日間]

BMC プログラム・海外派遣のご支援の元、私は 9 月 20 日から 26 日までの 6 日間、イタリア・フィレンツェで行われた”**International Conference of Molecular Magnetism (ICMM2008)**”に参加し、ポスターによる発表を行いました。滞在期間中は運良く晴天に恵まれ、素晴らしい日々を過ごすことができました。多くのメディアで取り上げられるように、フィレンツェは非常に美しい街で、シンボルである **Duomo** (大聖堂) やウフィツィ美術館といった世界的に有名な歴史的建造物が数多く存在しています。また、町中には彫刻やレリーフなども多数存在しており、私のような美術好きにはたまらないところでした。

この ICMM は有機物や金属イオンを基盤とする磁性体に関する学会で、世界的に著名な先生方が多数参加されており、最新の研究について非常に興味深いお話を聞くことができました。また、ポスターセッションでも活発な議論を展開することができ、現在自分が行っている研究をさらに深化・拡張していく上でのヒントも数多く得られたと思います (自分の英語能力に情けなさを感じることもままありましたが)。何より素晴らしかったのが、この学会には私と同世代の学生さん達が各国からたくさん出席していたことです。一緒に街を歩いたり、食事をしながら、研究の話や日々の生活についていろいろな話をするのは、私にとってとても楽しく、刺激的な体験でした。短い間ですが、彼らと接することによって、自分を客観的に見ることができるようになったと感じます。これは海外に出て、日本人以外の人たちと接して初めて可能になることだと思います。

最後になりましたが、経済的なご支援をくださった BMC プログラムの皆様を初めとして、このような素晴らしい機会を与えてくださった皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

